

平成25～27年度病院機能指標

ID	指標名	単位・期間	平成27年度	平成26年度	平成25年度
1	高度医療評価制度・先進医療診療実施数	件数・年間		3	15
	1年間の高度医療評価制度及び先進医療診療の実施数です。 参考URL:厚生労働省 先進医療の概要について http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuoken/sensiniryoo/index.html				
2	手術室内での手術件数	件数・年間		4452	4361
	手術室で行われた医科診療報酬点数表区分番号K920,K923,K924(輸血関連)以外の手術(医科診療報酬点数表2章第10部手術に記載された項目)の数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合は、合わせて1件とします。				
3	緊急時間外手術件数	件数・年間		222	188
	緊急に行われた手術(医科診療報酬点数表区分番号K920,K923,K924(輸血関連)以外の手術)で、かつ時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した手 じめ計画された時間外手術は除きます。複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合は、合わせて1件とします。				
4	手術技術度DとEの手術件数	件数・年間		4665	4309
	外科系学会社会保険委員会連合(外保連)「手術報酬に関する外保連試案(第8.2版)」において技術度D、E に指定されている手術の件数です。1手術 ある場合は、主たる手術のみの件数とします。				
5	手術全身麻酔件数	件数・年間		2509	2423
	手術目的の全身麻酔の件数です。 検査等における全身麻酔件数は除きます。				
6	重症入院患者の手術全身麻酔件数	件数・年間		356	312
	医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(麻酔困難な患者)」の算定件数です。				
7	臓器移植件数(心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓)	件数・年間		0	0
	1年間の心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の移植件数です。 同時複数臓器移植の場合は1件として計上します。				
8	臓器移植件数(骨髄)	件数・年間		8	8
	1年間の骨髄移植の件数です。				
9	脳梗塞の早期リハビリテーション実施率	割合(%)・年間		33.33	19.05
	脳梗塞の早期リハビリテーション実施率(%)です。 分子:入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数です。 分母:最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ緊急入院した患者数です。 3日以内退院と転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みます。				
10	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率	割合(%)・年間		83.87	77.78
	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率(%)です。 分子:入院翌日までにアスピリンが投与された患者数です。 分母:診断群分類コード上6桁が「050030」(急性心筋梗塞)の退院患者数、緊急入院に限ります。再梗塞を含みます。				
11	新生児のうち、出生時体重が1500g未満の数	件数・年間		0	5
	自院における出生数です。死産は除きます。				
12	新生児特定集中治療室(NICU)実患者数	件数・年間		80	86
	医科診療報酬点数表における、「A-302 新生児特定集中治療室管理料」及び「A-303総合周産期特定集中治療室管理料2-新生児集中治療室管理料 特定集中治療室(NICU)にて集中的に治療を行った実人数です。(延べ人数ではありません。)				
13	緊急帝王切開数	件数・年間		38	26
	医科診療報酬点数表における、「K898 帝王切開術1-緊急帝王切開」または、入院2日以内に「帝王切開術2-選択帝王切開」且つ「予定入院以外のもの 以内に「帝王切開術3-前置胎盤を合併する場合または32週未満の早産の場合」且つ「予定入院以外のもの」、の算定件数です。 分娩患者に対する割合などではなく実数として評価します。				
14	直線加速器による定位放射線治療患者数	件数・年間		93	97
	医科診療報酬点数表における、「M001-3 直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。				
15	放射線科医がCT・MRIの読影レポート作成を翌営業日までに終えた割 合	割合(%)・年間		99.09	98.72
	1年間の「翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数」を「CT・MRI 検査実施件数」で除した割合(%)です。 「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。				
16	放射線科医が核医学検査の読影レポート作成を翌営業日までに終え た割合	割合(%)・年間		92.83	90.35
	1年間の「翌営業日までに放射線科医(及び、核医学診療科医)が読影したレポート数」を「核医学検査実施件数」で除した割合(%)です。「放射線科医 点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。				
17	病理組織診断件数	件数・年間		6730	7177
	医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製(T-M)」及び「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。入院と外来の は含めません。				

ID	指標名	単位・期間	平成27年度	平成26年度	平成25年度
18	術中迅速病理組織診断件数	件数・年間		709	700
	医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)、N003-2 術中迅速細胞診」の算定件数です。				
19	薬剤管理指導料算定件数	件数・年間		6695	8379
	医科診療報酬点数表における、「B008 薬剤管理指導料(1)(2)(3)」の算定件数です。				
20	外来でがん化学療法を行った延べ患者数	件数・年間		2541	2676
	医科診療報酬点数表における、「第6部注射通則6 外来化学療法加算」の算定件数です。				
21	無菌製剤処理料算定件数	件数・年間		10298	10738
	医科診療報酬点数表における、「G020 無菌製剤処理料(1)(2)」の算定件数です。入院診療と外来診療の合計とします。				
22	褥創発生率	割合(%)・年間		0.85	1.07
	1年あたりの褥創発生率(入院してから新しく褥創を作った患者数の比率(%))です。				
23-1	手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率	割合(%)・年間		93.3	93.08
	肺塞栓症リスクの高い患者に対する、予防対策の実施割合です。				
23-2	手術あり患者の肺塞栓症の発生率	割合(%)・年間		0.07	0.07
	肺塞栓症リスクの高い患者に対する、肺塞栓症の発生率(%)です。				
24	多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数	件数・年間		0	1
	1年間の新規MDRP 発症患者数です。保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。				
25	CPC(臨床病理検討会)の検討症例率	割合(%)・年間		5.48	5.80
	1年間のCPC(臨床病理検討会)のCPC件数を死亡患者数で除した割合(%)です。自院での死亡退院を対象とします。ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めます。				
26	新規外来患者数	件数・年間		7897	8431
	1年間に新規にIDを取得し、かつ診療録を作成した患者数です。診療科単位ではなく病院全体単位で新規にIDを取得した場合が該当します。外来を経みます。				
27	初回入院患者数	件数・年間		6048	4982
	1年間の入院患者の内、入院日から過去1年間に自院に入院履歴がない入院患者数です。(例:平成26年9月1日に入院した症例の場合、平成25年9月31日までの間に自院入院が無い場合を過去1年間入院なしと判断します。)診療科単位ではなく、病院全体として考え入院履歴が無い場合が該当し、費、労災、自動車賠償責任保険に限定し、人間ドック目的の入院は除きます。				
28	10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数	件数・年間		33	30
	各年度1年間に10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数です。「10例以上」とは特異な事情(バリエーション)によるパスからの逸脱(ドロップ該年度内に適用された患者数とします。パスの数は1入院全体だけではなく、周術期等の一部分に適用するパスでも1件とします。				
29	在院日数の指標	--		0.9	0.92
	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。(平成26年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値(12.96日)を、DPC毎の患者構成を平成26年度全国平均に合わせた際の医療機関した値)参考:http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html				
30	患者構成の指標	--		1.1	1.15
	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。(DPC 毎の在院日数を、平成26年全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数を、平成26年機関の全体の在院日数の平均値(12.96日)で除した値)参考:http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html				
31	退院患者に占める難病患者の割合	割合(%)・年間		6.54	6.53
	退院患者に占める難病患者の割合(%)です。難病とは、診断群分類決定時の「最も医療資源を投入した傷病名」が難治性疾患克服研究事業の対象で(平成22年3月6日時点で123疾患、平成26年9月24日時点で130疾患)。参考URL:難病情報センター http://www.nanbyou.or.jp/top.html				
32	超重症児の手術件数	件数・年間		0	0
	医科診療報酬点数表における、「A212-1-イ 超重症児入院診療加算」及び、「A212-2-イ 準重症児入院診療加算」を算定した患者の手術(医科診療報酬K920、K923、K924(輸血関連)以外の手術)件数です。				

ID	指標名	単位・期間	平成27年度	平成26年度	平成25年度
33	初期研修医採用人数	人数・時点		18	21
	初期研修プログラム1年目の人数です。2年間の初期研修の一部を他病院で行う、「たすき掛けプログラム」の場合でも大学病院研修に限定せず、プロ 体人数を計上します。他院で研修を開始する場合を含みます。				
34	他大学卒業の初期研修医の採用割合	割合(%)・時点		11.11	14.29
	他大学卒業の初期研修医の採用割合(%)です。				
35	専門医、認定医の新規資格取得者数	人数・年間		58	54
	各年度中に自院に在籍中(あるいは、自院の研修コースの一環として他院で研修中)に、新たに専門医または認定医の資格を取得した延べ人数です。 専門医を取得した場合は2人とします。他院の医師であっても、自院で研修して取得した場合も含みます。				
36	指導医数	人数・年間		134	121
	各年6月1日時点で、医籍をおく医師のうち、臨床経験7年以上で指導医講習会を受講した臨床研修指導医人数です。 臨床研修指導医、及び臨床経験の定義は、「※医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について(厚生労働省平成15年6月1 参考ホームページ http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/rinsyo/keii/030818/030818.html				
37	専門研修コース(後期研修コース)の新規採用人数	人数・時点		27	31
	コース1年目の人数です。大学に採用ではなく、プログラムに採用した人数です。 他院で研修を開始する場合を含みます。				
38	看護師の研修受入人数(外部の医療機関などから)	人日・年間		73	41
	1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。 外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。				
39	看護師の受け入れ実習学生数(自大学から)	人日・年間		10998.7	7199.5
	1年間の保健学科・看護学科等の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。				
40	看護師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	人日・年間		0	0
	1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。 1日体験は除きます。				
41	薬剤師の研修受入人数(外部の医療機関などから)	人日・年間		19	20
	1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。 外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。				
42	薬剤師の受入実習学生数(自大学から)	人日・年間		-	-
	1年間の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。				
43	薬剤師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	人日・年間		153	20
	1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。1日体験は除きます。				
44	その他医療専門職の研修受入人数(外部の医療機関などから)	人日・年間		169	165.9
	各年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします 門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職を指します。				
45	その他医療専門職の受入実習学生数(自大学から)	人日・年間		124.4	329
	各年度1年間の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。 その他の医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職を指します。				
46	その他医療専門職学生の受入実習学生数 (自大学以外の養成教育機関から)	人日・年間		1234.8	1023
	1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。一日体験は除きます。 その他医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職をさします。				
47	治験の実施症例件数	件数・年間		138	89
	実施症例件数です。登録件数ではなく、実施完了件数(※)です。 ※治験終了の有無を問わず、契約した治験で実施の済んだ症例数				
48	治験審査委員会・倫理委員会で審査された自主臨床試験の件数	件数・年間		119	90
	治験審査委員会・倫理委員会で審査された自主臨床試験の件数です。				
49	医師主導治験件数	件数・年間		0	0
	実施中の医師主導治験の数です。患者数ではありません。 当該年度に1例も実施されなかったものは除きます。				

ID	指標名	単位・期間	平成27年度	平成26年度	平成25年度
51	救命救急患者数	件数・年間		1431	1510
	救命救急患者の受入数です。ここで「救命救急患者」とは医科診療報酬点数表における、「A205 救急医療管理加算」または「A300 救命救急入院料」、「A301-1 救急室管理料」、「A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料」、「A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「A301-4 小児特定集中治療室管理料」、「A301-5 集中治療室管理料」、「A303 総合周産期特定集中治療室管理料」を入院初日に算定した患者を指し、必ずしも救命救急センターを持たない施設でも使用できる患者で死亡した患者も含みます。				
52	二次医療圏外からの外来患者の割合	割合(%)・年間		25.01	24.80
	1年間の自施設の当該二次医療圏外に居住する外来患者の延べ数を外来患者述べ数で除した割合(%)。二次医療圏とは、医療法第30条の3 第2項第1号の規定された区域をさします。「外来患者」数は延べ数としますが、その定義は、初再診料を算定した患者とし、併科受診の場合で初再診料が算定できない患者は除きます。入院中の他科外来受診は除きます。検査・画像診断目的の受診は、同日に再診料を算定しない場合に限り1人とします。住所の不明な患者は、二次医療圏外とします。				
53	公開講座等(セミナー)の主催数	件数・年間		73	122
	1年間に自院が主催した市民向けおよび医療従事者向けの講演会、セミナー等の開催数です。学習目的及び啓発目的に限り、七夕の夕べ、写真展等は含みません。また、主として院内の医療従事者向け、入院患者向けのものも含みません。他の主催者によるセミナー等への講師参加は含みません。ブラッシュアップ講座等病院主催として、病院で把握できるものは含みます。				
54	地域への医師派遣数	人数・年間		262	318
	各年6月1日時点での、地域の医療を安定的に維持することを目的に、常勤医として、自院の外へ派遣している医師数です。自院の分院への派遣は含みません。同門会などからの派遣についても含めて計上します。				

平成24年度
9
4342
件数です。ただし複
228
術件数です。あらか
4484
で複数のKコードが
2442
320
0
34
41.18
95.24
5
83
を算定する新生児
41
り」または、入院2日
130
98.48
99.67
とは医科診療報酬
6197
合計として、細胞診

平成24年度
670
7647
2582
9802
1.09
94.92
0.07
1
12.77
10357
理由しない入院を含
4637
月1日～平成26年8 ます。保険診療、公
30
アウト)を含み、当
0.93
別の在院日数で除
1.11
度全調査対象医療
5.25
ある疾患を指します
0
州点数表区分番号

平成24年度
17
グラムに採用した全
11.76
54
1人の医師が2つの
108
12日)」に従います。
30
62
6360,51
0
157.8
-
53
207.9
。その他の医療専
106
939.1
85
113
0

平成24年度
1622
A301 特定集中治療 J2 新生児特定集中 きる指標とします。救
24.54
第1号及び第2号によ い場合も含みま 医療圏内としま
72
のり流目的のもの 医療従事者向けの
239